

医療機関	かかりつけ医	金足医院			医師	金足 一	電話	123-4567								
	緊急搬送病院	秋田救急病院			医師	救急担当医	電話	234-5678								
医療的意見	生活機能の原因となっている疾病経緯・投薬内容を含む治療内容・特記事項	<p>H.20年頃より、物忘れ症状・物取られ妄想、暴言・威圧的行動が出現し、周囲とのトラブル(+)。H.25年5月よりアリセプト・リスパダール内服開始している。</p> <p>H.28年9月25日、左上下肢麻痺が出現し、ショートステイ利用中に転倒。立位困難となり、救急要請し、秋田救急病院に救急搬送となった。頭部にMRI上、右側脳梗塞を認め、入院になった。急性期は点滴加療し、回復。現在、機能回復訓練を継続中であるが日常全般に見守り・介助が必要な状態である。</p>														
	症状の安定性	安定														
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	訪問時間・サービス内容	訪問介護						備考	訪問看護							
		月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	日
		7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00		7:00							
		AC	AC	AC	AC	AC	AC		AC							
		8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00		8:00							
		BCD	BCD	BCD	BCD	BCD	BCD		BCD							
		12:00		12:00	12:00		12:00		12:00							
		BCD		BCD	BCD		BCD		BCD							
		13:00		13:00	13:00		13:00		13:00							
		A		A	A		A		A							
		15:00		15:00	15:00		15:00		15:00							
		A		A	A		A		A							
		17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00		17:00							
BCD	BCD	BCD	BCD	BCD	BCD	BCD										
19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00										
A	A	A	A	A	A	A										
サービス項目							サービス項目									
A	生活・身体援助			D	服薬確認			A				D				
B	食事			E	生活・体調変化			B				E				
C	安否確認			F				C				F				
発生可能な高い状態と対処方法	【転倒・転落】 ・左片麻痺 ・車椅子使用 ・認知機能低下 ・認知症による介護抵抗 ・高齢 ・移乗時、健側に車椅子を置き、介助者は患側で足折れに注意する。 ・認知機能の低下による転落を予防するため、ベッド柵を使用し、臥床時は最低の高さにする。			【誤嚥・窒息】 ・左片麻痺 ・認知機能低下による異食 ・水分はトロミ(ポタージュ状)使用。主食:お粥、副食:一口大。 ・異食予防のため、手の届く範囲に物を置かない(ティッシュ等も)。			【閉じこもり】 ・自力での移乗不可 ・車椅子自走不可 ・認知症状によるコミュニケーション能力の低下 ・介助により、食堂ホールへ誘導する(毎食時、15時)。 ・他入居者と趣味の囲碁・将棋ができるよう、支援する。									
	連携上の留意点	・悪性症候群に注意。急激な発熱、筋肉の硬直、意識障害が出現した場合は、救急搬送願います。														
備考																
連携先	連携サービス	連携事業所	連絡先	コメント												
	デイサービス	デイサービスふきのとう	827-5619	火・金												
	福祉用具	落のサービス	888-8888	ベッド・ベッド柵・車椅子												
	ケアマネージャー	落の居宅支援授業所	877-7777	小泉金美												